

令和5年(ワ)第421号 国家賠償等請求事件
原告 ●●●●
被告 国外3名

証拠説明書 (3)

令和6年3月29日

福岡地方裁判所小倉支部第3民事部 御中

原告訴訟代理人

弁護士 南 出 喜 久 治

弁護士 木 原 功 仁 哉

原告が提出した下記の甲号証について、以下のとおり証拠の説明を行ふ。

- 1 甲第27号証
文書の標題 「コロナワクチン その不都合な真実」(世界的権威が明かす mRNA ワクチンの重大なリスク)
作成者 アレクサンドラ・アンリオン=コード(鳥取絹子・訳)
(発行者・株式会社詩想社)
作成年月日 令和5年12月25日
原本写の別 原本
立証趣旨 本件ワクチンの危険性、無効性及びワクチン利権の構造等を明らかにした著作論文の存在とその内容。
- 2 甲第28号証
文書の標題 「コロナワクチン後遺症の真実と WHO の次なる策略」(「全国有志医師の会」藤沢明德医師インタビュー) (「紙の爆弾」令和5年9月号)
作成者 株式会社鹿砦社編集部
作成年月日 令和5年8月7日
原本写の別 原本
立証趣旨 ワクチン接種後に白血球中のリンパ球が激減して免疫力が低下するなどを明らかにした記事の存在とその内容。
- 3 甲第29号証

文書の標題 債権譲渡契約書
作成者 原告、●●●●
作成年月日 令和6年2月20日
原本写の別 原本
立証趣旨 原告と堀川の共同相続人である訴外●●●●（以下「●●」
といふ。）との間で、原告が被告らに対して有してゐる本件
損害賠償請求債権と同様の相続債権として●●が有してゐ
る堀川の相続債権を原告が遺産分割の趣旨にて譲渡を受け
る合意がなされた契約書の存在とその内容。

4 甲第30号証の1

文書の標題 債権譲渡通知書
作成者 弁護士南出喜久治
作成年月日 令和6年2月22日
原本写の別 原本
立証趣旨 甲29号証に基づく債権譲渡通知が令和6年2月22日に被
告らに発送された通知書の存在とその内容。

5 甲第30号証の2

文書の標題 配達証明書
作成者 日本郵便株式会社銀座郵便局
作成年月日 令和6年2月26日
原本写の別 原本
立証趣旨 国に対して甲30の1が送達されたことの証明書の存在とそ
の内容。

6 甲第30号証の3

文書の標題 配達証明書
作成者 日本郵便株式会社代々木郵便局
作成年月日 令和6年2月26日
原本写の別 原本
立証趣旨 ファイザーに対して甲30の1が送達されたことの証明書の
存在とその内容。

7 甲第30号証の4

文書の標題 配達証明書
作成者 日本郵便株式会社蒲郡郵便局
作成年月日 令和6年2月26日
原本写の別 原本
立証趣旨 蒲郡市に対して甲30の1が送達されたことの証明書の存在

とその内容。

8 甲第 30 号証の 5

文書の標題 配達証明書
作成者 日本郵便株式会社豊川郵便局
作成年月日 令和 6 年 2 月 24 日
原本写の別 原本
立証趣旨 豊川市に対して甲 30 の 1 が送達されたことの証明書の存在
とその内容。

9 甲第 31 号証

文書の標題 低張電解質輸液の解説 (処方薬事典)
<https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/drugdic/article/57903e8bf6f5d720008b5b3d.html>
作成者 日経メディカル
作成年月日 令和 6 年 3 月 5 日 (上記ウェブサイト検索日)
原本写の別 写し
立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物 (ソルデム 3A 輸液) に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」(甲 27 の p30 以下) を悪化させる肺水腫などの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。

10 甲第 32 号証

文書の標題 医療用医薬品 : ヒューマリン
https://www.kegg.jp/medicus-bin/japic_med?japic_code=00056175
作成者 KEGG MEDICUS
*日本および米国の医薬品添付文書を統合したデータベース及びリソースの Web サイト。
作成年月日 令和 6 年 3 月 5 日 (上記ウェブサイト検索日)
原本写の別 写し
立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物 (ヒューマリン R 注) に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」(甲 27 の p30 以下) を悪化させるアナフィラキシーショック (呼吸困難、血圧低下、頻脈、発汗、全身の発疹) などの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。

11 甲第 33 号証

文書の標題 デキサート注射液 3.3mg の基本情報 (処方薬事典)

- <https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/drugdic/prd/24/2454405H3035.html>
- 作成者 日経メディカル
作成年月日 令和6年3月5日（上記ウェブサイト検索日）
原本写の別写し
立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物（デキサート注射液 3.3mg）に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」（甲27のp30以下）を悪化させる呼吸困難などの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。
- 12 甲第34号証
文書の標題 フェンタニル注射液 0.1mg 「テルモ」の基本情報(処方薬事典)
- <https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/drugdic/prd/82/8219400A1071.html>
- 作成者 日経メディカル
作成年月日 令和6年3月5日（上記ウェブサイト検索日）
原本写の別写し
立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物（フェンタニル注射液 0.1mg）に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」（甲27のp30以下）を悪化させる呼吸抑制、無呼吸、換気困難、アナフィラキシーなどの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。
- 13 甲第35号証
文書の標題 アセリオ静注液 1000mg バッグの基本情報(処方薬事典)
- <https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/drugdic/prd/11/1141400A2020.html>
- 作成者 日経メディカル
作成年月日 令和6年3月5日（上記ウェブサイト検索日）
原本写の別写し
立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物（アセリオ静注液 1000mg バッグ）に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」（甲27のp30以下）を悪化させるアナフィラキシー、呼吸困難などの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。
- 14 甲第36号証
文書の標題 ロピオン静注 50mg の基本情報(処方薬事典)

- <https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/drugdic/prd/11/1149407A1040.html>
- 作成者 日経メディカル
 作成年月日 令和6年3月5日（上記ウェブサイト検索日）
 原本写の別 写し
 立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物（ロピオン静注 50mg）に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」（甲 27 の p30 以下）を悪化させるアナフィラキシー、胸内苦悶などの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。
- 15 甲第 37 号証
 文書の標題 ソルアセト F 輸液の基本情報(処方薬事典)
<https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/drugdic/prd/33/3319557A2036.html>
- 作成者 日経メディカル
 作成年月日 令和6年3月5日（上記ウェブサイト検索日）
 原本写の別 写し
 立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物（ソルアセト F 輸液）に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」（甲 27 の p30 以下）を悪化させる肺水腫などの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。
- 16 甲第 38 号証
 文書の標題 医療用医薬品：ヘパリン Na
https://www.kegg.jp/medicus-bin/japic_med?japic_code=00067817
- 作成者 KEGG MEDICUS
 作成年月日 令和6年3月5日（上記ウェブサイト検索日）
 原本写の別 写し
 立証趣旨 糖尿病等の過剰治療として投薬した薬物（ヘパリン Na ロック用 100 単位/mL シリンジ 5mL）に、「急性呼吸窮迫症候群などの肺機能障害」（甲 27 の p30 以下）を悪化させる意識低下、呼吸困難、アナフィラキシーなどの副作用があり、これにより堀川の免疫力を低下させた事実の存在及びその内容。
- 17 甲第 39 号証の 1
 文書の標題 「Tanaka and Miyazawa Unnaturalness in the evolution process of SARS CoV-2」（SARS-CoV-2 変異体の進化過程における不自然さと意図的な自然選択の可能性）（https://zenodo-org.translate.google/records/8216373?_x_

tr_sl=en&x_tr_tl=ja&x_tr_hl=ja&x_tr_pto=tc) の論文
要旨
作 成 者 宮澤孝幸（京都大学准教授）及び田中淳（大阪医科薬科大学
助教授、獣医学者）
作成年月日 令和5年8月5日
原本写の別 写し
立証趣旨 オミクロン株が人工ウイルスであること。

18 甲第39号証の2

文書の標題 翻訳対比表
作 成 者 南出喜久治
作成年月日 令和6年3月
原本写の別 写し
立証趣旨 英文表記の前記論文（甲第39号証の1）について、英文とAI
機械翻訳（コンピュータを利用して全て自動的に行ふ翻訳）
した日本語を対比して記載した一覧表。
なほ、同論文のセクションである、
・ Abstract（論文の要旨）
・ Introduction（序論）
・ Results（結果）
・ Discussion（考察）
・ methods（方法）
・ reference（参考文献）
のうち、Abstract（論文の要旨）、Results（結果）、Discussion
（考察）について抜粋し英文と機械翻訳文を対比表にまとめ
たものである。

19 甲第40号証

文書の標題 インフルエンザも「ただの風邪」（近藤誠の重要医療レポー
ト014）<https://kondo-makoto.com/report/report014.html>
作 成 者 近藤誠（医師、近藤誠がん研究所所長）
作成年月日 令和3年3月
原本写の別 写し
立証趣旨 スペイン風邪による大量死の原因は解熱・鎮痛剤「アスピリ
ン」の薬害であるつた事実